



## 2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社アトラエ 上場取引所 東  
 コード番号 6194 URL <https://atrae.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 新居 佳英  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 鈴木 秀和 TEL 03-6435-3210  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第3四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	5,690	17.4	782	△19.5	763	△21.0	534	△13.4
2022年9月期第3四半期	4,848	-	971	-	966	-	617	-

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 542 百万円 (△12.1%) 2022年9月期第3四半期 617 百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	19.93	19.93
2022年9月期第3四半期	23.00	22.87

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年9月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	7,033	5,695	75.2
2022年9月期	7,400	5,926	76.7

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 5,288百万円 2022年9月期 5,672百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年9月期	-	0.00	-	-	-
2023年9月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	13.8	810	△23.6	797	△24.8	514	△20.9	19.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
詳細は、「添付資料」P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無
- 詳細は、「添付資料」P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期3Q	27,021,200株	2022年9月期	26,961,200株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	1,254,011株	2022年9月期	18,432株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期3Q	26,821,267株	2022年9月期3Q	26,834,205株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、今後の不確定要素により、実際の実績と異なる場合がありますのでご了承ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2023年8月10日（木）に機関投資家・アナリスト向け説明会を実施する予定です。当日使用する資料を四半期決算補足説明資料として、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、緩やかに回復しております。一方で、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があるなど、不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループは、成功報酬型求人メディア「Green」、組織力向上プラットフォーム「Wevox」、ビジネス版マッチングアプリ「Yenta」、及びプロバスケットボールクラブ「アルティリー千葉」を運営してまいりました。

成功報酬型求人メディア「Green」については、我が国の経済が不透明な状況にある中でも、求人企業の多くが属するインターネット業界において、人工知能やIoTに関する様々なサービスが生まれており、ITエンジニアやWebデザイナーといった人材の需要が堅調に推移しております。当社では、求人企業と求職者のマッチング効率向上のためのコンテンツの拡充、ビッグデータ解析によるレコメンド精度の向上をはじめ、登録者数の増加施策としてWebマーケティングの強化等、転職市場における「Green」の独自の競争優位性を活かした様々な取り組みを実施しております。

組織力向上プラットフォーム「Wevox」については、組織の状態をスコアリングして可視化し、改善策を推奨することで、利用企業の組織改善を支援するサービスであり、2017年5月の正式リリース以降着実に導入企業を増やしております。当社では、今後の拡販に向けてプロダクトの更なる向上、カスタマーサクセス体制の充実を図ることが重要と考えております。

ビジネス版マッチングアプリ「Yenta」については、「ビジネスを加速させる出会い」を生み出し、ビジネスパーソンの組織の枠を超えた横の繋がりを増やすことで、オープンイノベーション、働き方の多様化、生産性の向上等を促進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,690,252千円（前年同期比17.4%増）、営業利益は782,308千円（前年同期比19.5%減）、経常利益は763,715千円（前年同期比21.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は534,625千円（前年同期比13.4%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### (People Tech事業)

成功報酬型求人メディア「Green」については、当第3四半期連結累計期間の入社人数は3,353人（前年同期比6.4%減）となりました。組織力向上プラットフォーム「Wevox」については、幅広い業種・業界にサービスの提供を行っており、本書提出日現在の導入企業は2,940社を超えております。

以上の結果、People Tech事業の売上高は5,411,171千円（前年同期比16.0%増）、セグメント利益は717,596千円（前年同期比22.5%減）となりました。なお「Green」の売上高は3,910,876千円（前年同期比8.2%増）、「Wevox」の売上高は1,423,234千円（前年同期比45.9%増）であります。

#### (Sports Tech事業)

当社グループは、千葉県千葉市を本拠地とするプロバスケットボールクラブ「アルティリー千葉」を新規に設立し「Sports Tech事業」に進出いたしました。「アルティリー千葉」は当社の連結子会社である株式会社アルティリーが運営等を行っております。2021-22シーズンよりB3リーグに新規参入し、初年度にB2リーグへの昇格を果たし、当第3四半期連結累計期間はB2リーグにて活動を行ってまいりました。

以上の結果、Sports Tech事業の売上高は984,080千円（前年同期比42.7%増）、セグメント利益は62,911千円（前年同期比44.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,033,719千円となり、前連結会計年度末と比べて366,349千円減少しました。これは主に、売掛金が110,020千円増加したものの、現金及び預金が523,597千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,337,795千円となり、前連結会計年度末と比べて135,576千円減少しました。これは主に、未払金が44,225千円増加したものの、未払法人税等が180,931千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,695,923千円となり、前連結会計年度末と比べて230,773千円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益534,625千円を計上したものの、自己株式の取得により純資産が999,947千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月11日に発表いたしました2023年9月期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,949,761	4,426,163
売掛金	689,122	799,143
商品	6,289	11,431
その他	150,818	167,494
貸倒引当金	△3,121	△1,479
流動資産合計	5,792,870	5,402,753
固定資産		
有形固定資産	240,979	223,469
無形固定資産	2,477	483
投資その他の資産		
投資有価証券	868,177	930,601
その他	495,564	476,411
投資その他の資産合計	1,363,741	1,407,013
固定資産合計	1,607,198	1,630,965
資産合計	7,400,069	7,033,719
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	25,258	62,764
リース債務	3,300	3,378
未払金	629,211	673,437
未払法人税等	221,010	40,079
未払消費税等	82,997	58,428
契約負債	411,725	424,296
その他	76,302	62,384
流動負債合計	1,449,807	1,324,771
固定負債		
リース債務	15,568	13,024
繰延税金負債	7,996	—
固定負債合計	23,564	13,024
負債合計	1,473,371	1,337,795
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,231,463	1,268,183
資本剰余金	1,217,463	1,254,183
利益剰余金	3,229,980	3,764,606
自己株式	△790	△1,000,737
株主資本合計	5,678,118	5,286,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,649	1,363
繰延ヘッジ損益	—	1,014
その他の包括利益累計額合計	△5,649	2,378
新株予約権	254,229	407,308
純資産合計	5,926,697	5,695,923
負債純資産合計	7,400,069	7,033,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,848,210	5,690,252
売上原価	451,011	635,139
売上総利益	4,397,199	5,055,113
販売費及び一般管理費	3,425,908	4,272,805
営業利益	971,290	782,308
営業外収益		
受取利息	24	25
経営指導料	1,000	9,000
助成金収入	—	7,550
雑収入	144	406
営業外収益合計	1,169	16,981
営業外費用		
支払利息	465	426
支払手数料	2,161	746
投資事業組合運用損	1,237	30,724
為替差損	1,608	677
自己株式取得費用	—	2,999
営業外費用合計	5,472	35,574
経常利益	966,987	763,715
特別損失		
投資有価証券売却損	31,018	—
特別損失合計	31,018	—
税金等調整前四半期純利益	935,968	763,715
法人税等	318,706	229,090
四半期純利益	617,262	534,625
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	617,262	534,625

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	617,262	534,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	7,013
繰延ヘッジ損益	—	1,014
その他の包括利益合計	—	8,028
四半期包括利益	617,262	542,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	617,262	542,654
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,235,300株の取得を行いました。この自己株式の取得等の結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が999,947千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,000,737千円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	People Tech事業	Sports Tech事業	計		
(財又はサービスの事業別)					
Green	3,613,744	—	3,613,744	—	3,613,744
Wevox	975,374	—	975,374	—	975,374
新規事業	74,713	689,628	764,341	△505,249	259,091
顧客との契約から生じる収益	4,663,832	689,628	5,353,460	△505,249	4,848,210
その他の収益	—	—	—	—	—
売上高					
外部顧客への売上高	4,663,832	184,378	4,848,210	—	4,848,210
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	505,249	505,249	△505,249	—
計	4,663,832	689,628	5,353,460	△505,249	4,848,210
セグメント利益	925,960	43,529	969,490	1,800	971,290

(注) 1. セグメント利益の調整額1,800千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	People Tech事業	Sports Tech事業	計		
(財又はサービスの事業別)					
Green	3,910,876	—	3,910,876	—	3,910,876
Wevox	1,423,234	—	1,423,234	—	1,423,234
新規事業	77,060	984,080	1,061,141	△704,999	356,141
顧客との契約から生じる収益	5,411,171	984,080	6,395,252	△704,999	5,690,252
その他の収益	—	—	—	—	—
売上高					
外部顧客への売上高	5,411,171	279,080	5,690,252	—	5,690,252
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	704,999	704,999	△704,999	—
計	5,411,171	984,080	6,395,252	△704,999	5,690,252
セグメント利益	717,596	62,911	780,508	1,800	782,308

(注) 1. セグメント利益の調整額1,800千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。